

地域振興会議資料

令和 6 年 1 月 26 日
八上地区公民館

【公民館概要】

・規模

小規模館

- ・エリアは 3 集落 戸数は曳田 185(下曳田含む)天神原 43 計 228 戸
人口 560 人

- ・公民館規模は小さいから、面積 1/6 1 館、集落数で 2/6 1 館、世帯数で 6/61 館。

・事業

出前行事

- ・小規模館だからできる出前行事、各集落に出かけ集落公民館を利用して事業を行う。来ないなら出かけよう。

桜つつみ公園清掃

- ・河原中学校前、市との管理契約で年 5 回実施。参加者はボランティアで 3 集落・老人会・女性会に公民館役員参加。各回 50~60 名。

【八上地区の資源・魅力など】

売沼神社 鳥居、大国主命と八上姫の石像

- ・八上姫ロマンティックロードを実現する会が令和 2 年に石の鳥居建立、大国主命と八上姫の石像（台座含め 3m）令和 3 年建設。

- ・八上姫公園は、神社隣の曳田川護岸に平成 6 年に県が親水公園として整備し市の管理。石碑があり 150 cm 以上の大きさの自然石 13 基に、大国主命神話の紙芝居の絵と説明文が刻んである。

【地域課題】

空家の増加

- ・多い集落 25%
中には朽ちている様な家もあり、通行に支障が認められるケースもある。

独居高齢者への地域での対応

令和5年度台風7号の被害について（地域振興課対応分）

1. 孤立集落の発生に伴う対応

発生原因	対応内容
<ul style="list-style-type: none"> ・集落に繋がる道路（市道）に複数の法面崩落、道路陥没等が発生 ⇒ 4世帯5名が孤立 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県の防災ヘリを要請 ⇒ 4世帯5名を救出。近隣の公民館へ避難 ・水、食料、毛布、簡易ベッド等の物資の搬入 ・移動販売車の運行手配 ・保健師による健康相談の実施 ※近隣住民から食事等の提供

※避難住民については8 / 28に全員、帰宅

2. 台風7号被害に伴う被害状況（家屋等）

被害内容	被害件数	被害状況
裏山法面崩落に伴う家屋半壊	1件	・裏山の法面が崩落し、大量の倒木や土砂が個人宅へ流入。
裏山からの土砂流入による床下浸水	5件	・裏山から土砂が敷地内に流入し、床下浸水となった。
水路等の増水に伴う床下浸水	7件	・家屋に近接した水路が増水し、敷地内に流入し、床下浸水となった。
土砂等の敷地内への流入	23件	・裏山等の土砂や水路の増水などに伴い、倉庫や敷地内に土砂等が流入
合計	36件	

※裏山法面崩落に伴う流入土砂（1件）等及び裏山からの流入土砂（5件）については、市の応急対策業務により土砂を撤去（施工費用：約11,400千円）

3. 状況写真

【孤立集落からの避難状況】



【個人宅への土砂等流入】



令和5年度台風7号の被害について（南工事事務所、産業建設課対応分）

1. 被害・復旧状況

地区名	区分	箇所数	被害額 [千円]	内 訳					備 考
				補助災（本災）		小規模（単災）			
				発注	未発注	復旧	発注	未発注	
西郷	河川	10	52,220	0	1	3	4	2	※1 ※2
	道路	19	358,215	0	10	9	0	0	
	林道	65	1,561,635	0	33	16	0	16	
	農地	86	84,532	2	13	13	3	55	
	施設	92	181,716	0	12	23	15	42	
小計		272	2,238,318	2	69	64	22	115	
散岐	河川	3	9,000	—	—	0	1	2	
	道路	11	4,601	—	—	11	0	0	
	林道	—	—	—	—	—	—	—	
	農地	14	21,996	1	4	2	0	7	
	施設	18	36,113	1	3	5	5	4	
小計		46	71,710	2	7	18	6	13	
八上	河川	—	—	—	—	—	—	—	
	道路	3	1,281	—	—	1	2	0	
	林道	1	389	—	—	1	0	0	
	農地	10	17,647	0	3	0	0	7	
	施設	11	3,899	—	—	2	0	9	
小計		25	23,216	0	3	4	2	16	
国英	河川	—	—	—	—	—	—	—	
	道路	—	—	—	—	—	—	—	
	林道	—	—	—	—	—	—	—	
	農地	3	1,197	—	—	0	0	3	
	施設	4	1,389	—	—	3	0	1	
小計		7	2,586	0	0	3	0	4	
河原	河川	—	—	—	—	—	—	—	
	道路	—	—	—	—	—	—	—	
	林道	—	—	—	—	—	—	—	
	農地	10	6,270	0	1	0	0	9	
	施設	6	3,265	0	1	0	0	5	
小計		16	9,535	0	2	0	0	14	
計		366	2,345,365	4	81	89	30	162	

※1 林道本災発注予定は、R6年4件、R7年29件。また、本災完成後に単災発注8件（概算）あり。

※2 曳田川および小河内川護岸復旧に合わせて発注する箇所多数。

2. 復旧についての考え方

農地・施設については、令和6年作付けに支障きたさぬよう、復旧に務めるものとする。ただし、河川護岸等関係機関との調整が伴う補助災については、この限りでない。

令和5年度 第7回河原地域振興会議協議・報告書

河原地域振興会議委員（ 渡邊 幸勇 ）

1 河原町内各地区公民館の活性化に向けての対応について

最近の新聞記事で、30年後には鳥取県の人口は54万人から4割ぐらい減少するとのことだった。今年度の鳥取市自治会連合会による河原町内の各集落（39集落）の組織アンケートの結果を見ると、住民が増えた集落は2集落だった。この状況から見ると、河原町の人口が増えることはなく、減り続けていくように思う。

このような現状の中でも、今後河原町の活性化を図っていかねばならない。各集落は勿論ではあるが、そのもとになるのは各地区公民館の運営の活気を保ち続けることが必要である。4月の第1回振興会議でも話をさせていただいたが、公民館、町づくり協議会、人推協の役員についても、高齢化により退任される方が増えつつある。残念ながら、役員になる人は少なくなっている。定年の延長、再雇用など仕事の関係で仕方がないかもしれない。若い人（20～40歳代）の参画も子育て等で参画できないことも理解できる。また、各地区で活動の工夫・新たな発想等を見出していくことも大切ではある。今後、各地区でも考えていくことは勿論、行政としても何だかの対応や対策を考えていく必要がある。

2 河原町の「名勝 霊石山」にトイレの設置について

国英、河原、八上地区公民館は、子ども達に地域の大切な山、霊石山に親しんでほしいという思いで霊石山に山頂の伊勢ヶ平の保全活動をしている。一番の思いは、3地区の子ども達が登校する河原第一小学校の児童に遠足で霊石山に登ってほしいからである。その思いは小学校に受け止めていただいて、霊石山の遠足は実施されていた。

ところが、令和2年から流行した新型コロナウイルス感染症のため、小学校では遠足での霊石山登山は延期されていた。今年度になれば新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったので、霊石山の遠足は実施してもらえるのではと思っていた。しかし、校長先生の話では、霊石山の遠足は難しいとのことだった。その大きな理由はトイレは不便であるとのことであった。トイレはテレビ塔のところの一基である。伊勢ヶ平がなるから遊んでいてトイレに行く場合、500mの坂道があり利用しにくいとのことである。テレビ塔から伊勢ヶ平に行く道の途中に休憩所的な建物がある。そこにトイレが設置していただくと、小学校の児童をはじめ、他地域からも登山に訪れる人が増えていくように思う。トイレの設置ではかなり費用がかかることが予想される。しかし、地域の山のある霊石山、歴史的に意義がある霊石山、ぜひとも考えていただきたい。

なお、3地区公民館としては、霊石山伊勢ヶ平の保全活動は山陰ジオパークのかわりもあり、今後も実施していく方向である。

※ 提出期限 令和6年1月12日（金）

※ 提出先 地域振興課

FAX 0858-85-0672